

東京都三宅島で行われた自動運転車両を用いた実証実験に参加しました

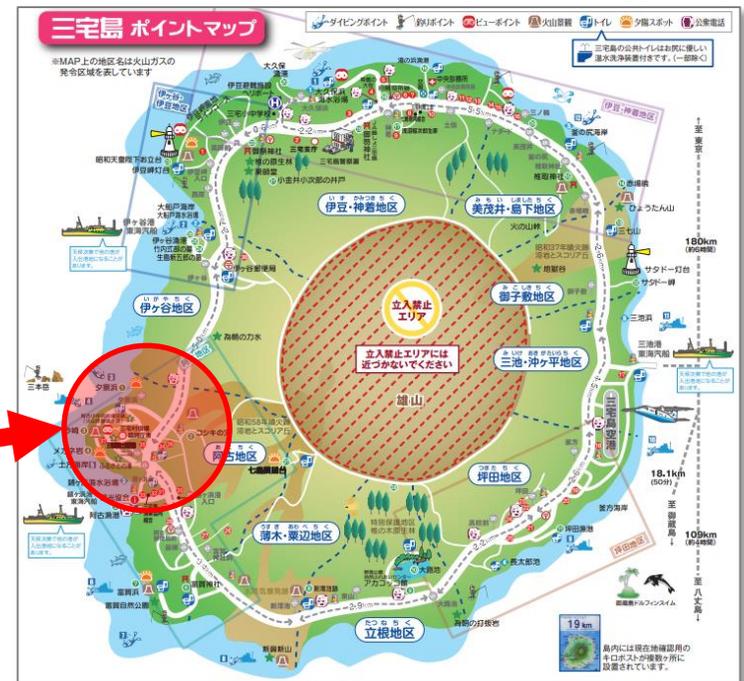
自動運転車両と手動運転車両が混在する社会の到来に備え、両者が道路を円滑に走行し、歩行者も含めた道路交通秩序をサポートする製品・システムとして、自動運転車両の意思(動き)を周囲にお知らせする「路車間協調表示装置」などを東京都と東京観光財団が三宅島で実施した実証実験にて設置しました。

内容：自動運転車両を利用した観光モニターツアーin三宅島

主催：東京都、（公財）東京観光財団

時期：2018年12月9日～17日

場所：東京都三宅島＊公道走行



東京都三宅島で行われた自動運転車両を用いた実証実験に参加しました

「通行表示サイン」



実験車両（自動運転車両）の通行をお知らせするサインを走行経路に沿って設置し島民や来島者へ周知



道路標識と同様の反射シートを使用し、夜間の視認性を考慮



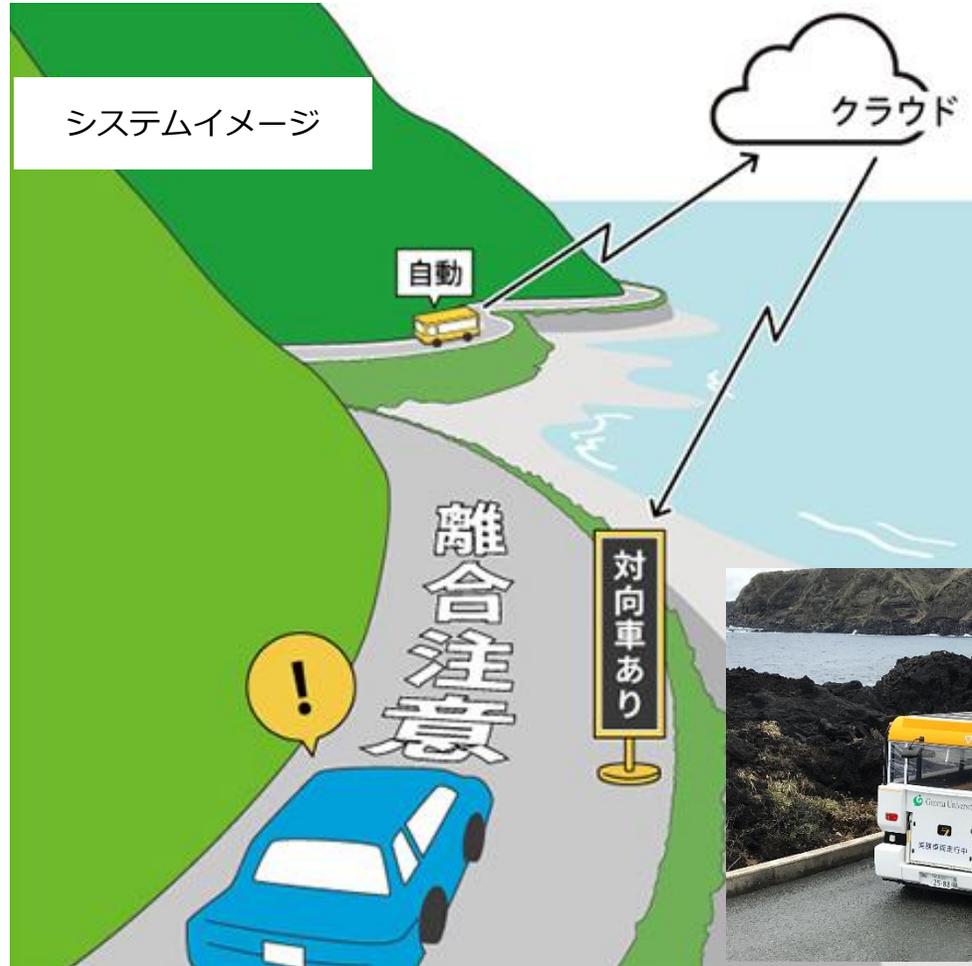
公道走行



走行経路に沿ってサインを設置

東京都三宅島で行われた自動運転車両を用いた実証実験に参加しました

自動運転車両の意思(動き)を周囲にお知らせする「路車間協調表示装置」



自動運転車両が付近を走行していない場合
⇒未表示

自動運転車両が付近を走行中の場合
⇒走行位置によって表示内容を可変表示



運行車両 20 km/h 未満



夜間走行を実施し安全性を確認

東京都三宅島で行われた自動運転車両を用いた実証実験に参加しました

「乗り場案内サイン」



島民や観光客に乗降場所を案内するサイン

